

データあり

令和7年6月24日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 白木・江口
TEL 782-2111

マヌルネコの赤ちゃんが生まれました

東山動植物園で飼育しているマヌルネコに赤ちゃんが生まれ順調に成長していますので、下記のとおりお知らせします。

東山動植物園でのマヌルネコの出産は、2002年以来となります。

記

1 赤ちゃんについて

出生日 : 2025年5月26日(推定)

頭数 : 3頭

性別 : 不明

体重 : 不明

2 赤ちゃんの両親

	名前	年齢	備考
父親	エル	6歳	2019年4月22日生まれ 2021年1月19日来園
母親	ミーニャ	4歳	2021年3月28日生まれ 2023年11月21日来園

※エルとミーニャにとって、はじめての赤ちゃんになります。

3 これまでの経緯

2025年5月26日に飼育員がマヌルネコの寝室に設置してある産箱内で赤ちゃんの存在を確認しました。また、母親が育仔のために産箱にこもる様子が確認できたことから、育仔に支障が無いよう母仔を刺激することはせず、これまで寝室内のビデオによる監視を続けてきました。最近では産箱から3頭の赤ちゃんが出てくる姿が確認できています。

4 公開について

3頭の赤ちゃんを確認できましたが、引き続き刺激することの無いよう、寝室内でのビデオ監視を行っています。現時点では母仔ともにご覧いただけませんが、赤ちゃんの公開日等につきましては、あらためてお知らせいたします。

【参 考】

■東山動植物園のマヌルネコ飼育頭数（今回生まれた個体を除く）

3 頭（オス 1 頭、メス 2 頭）

■国内のマヌルネコ飼育頭数（令和 6 年 12 月末現在）

7 園で 24 頭（オス 12 頭、メス 12 頭）が飼育されています。

■マヌルネコについて

- ・学 名：*Felis manul*
- ・英 名：Pallas's cat
- ・分 布：シベリア南部から中央アジア、イラン、アフガニスタンに至る広範囲
- ・形 態：体長50～65cm、尾長21～31cm、体重2.5～5.0kg。体は灰色で褐色や黒の細かい縞があり、尾には黒い輪状の縞がある。体毛は長く密集し、目の端から頬に黒色の縞が走る。他のネコ科の動物と比べると足や爪が短い。額は高く、丸い耳が低く離れた位置にある独特な顔をしている。他のネコ科動物とは歯の数や瞳孔の形が異なるという特徴がある。
- ・生 態 等：生息地は乾燥した高地の岩石地帯、草原、半砂漠地帯で、中には 5000m を超す高地に生息するものもいる。主に夜行性で単独で生活しており、ネズミ類、ナキウサギ、鳥類などの小型の動物を捕食する。野生下での繁殖生態の詳細は不明だが、飼育下では 4 月下旬から 5 月に、1 頭から5頭の仔を産む。国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストでは軽度懸念（LC）に指定されている。

【写 真】※写真データが必要な場合はご連絡ください。

